

すまいる・あくしょん宣言企業・団体のご紹介

企業・団体名：オリーブ守山保育園

代表者職・氏名：角野 めぐみ

登録年月日：令和8年7月14日

子どもたちの人権と一人ひとりを尊重し、個々の発達、育つ力を育むことを大切に考え、健常な子どもと医療的ケアの必要な子どもが共に育ちあうインクルーシブ保育をしています。保護者の安心な子育てと就労を支援し、また、病児病後児保育も併設しています。

◇ 宣 言 文 ◇

オリーブ守山保育園 すまいる・あくしょん取組宣言

私たちは、障がいのあるないにかかわらず、日常的に医療的ケアの必要な子どもたちも、必要でない子どもたちも、個々の育つ力を支援し、子どもたちが笑顔で社会生活を送れることをめざして、以下の内容について取り組みます。



子どもたちの悩みや不安に寄り添い、時には保護者の思いにも耳を傾けながら、安心して相談できる環境づくりを進めます。また、保育園で働く職員自身の心身の健康とワークライフバランスの向上に努め、笑顔あふれる保育を実践します。



障がいや医療的ケアのある・ないに関わらず、誰もが一緒に楽しく園生活を送り、ひとり1人を大切にする保育…インクルーシブ保育を実践しています。



当法人が運営する訪問看護や放課後デイサービス等との連携を通して、幅広い支援をします。また、育児や健康に関することなどお気軽に相談していただけます。病気の時や病気の後で、園生活に戻れない時でも安心して預けていただけるように、看護師と保育士を配置して「病児病後児保育」を運営しています。



天気の良い日には、散歩にでかけ体力や脚力を養います。遊びを通して友達と関わる楽しさを学びます。五感を通して、四季折々の遊びをします。また、地域の方や他施設との交流を図り、地域に根差した子育てを実践します。



園生活の様子や子どもの成長の喜びを保護者の方と共有することで、子どもの声を聞くことの大切さに気付いたり人権を尊重します。



「できない」ではなく「どうすればできるか」を大切に、一人ひとりの特性や状況に応じた工夫を行いながら、子どもたちがさまざまなことに挑戦できる環境づくりに取り組みます。障がいや医療的ケアの有無に関わらず、すべての子どもが自分らしく成長し、達成感や喜びを感じられる機会を大切にします。



令和8年6月17日
株式会社びわこナーシング
オリーブ守山保育園 園長 堀尾 真澄



